

はじめに

『若い歯科医と研修医のための口腔外科はじめましょう』の初版は2002年3月に当時東海大学医学部口腔外科の佐々木次郎教授の監修により発刊されました。初版の「刊行にあたって」の中で「医療の進歩はめざましく、歯科医療においてもその医療技術の多様化、手術成績の向上には目を見張るものがあります。それに伴ってカバーすべき領域も深くなってきています」と記載されています。

そして初版から約20年が経過した2020年には診断や治療に用いられる機器、感染予防対策や医療安全の概念が初版の時から大きく変化し、それに伴い口腔外科の手術や周術期管理を安全に行うために学ばなければならない内容も顕著に変化しました。初版に「それに伴ってカバーすべき領域も深くなってきています」とあったことを鑑みて、専門性をもって口腔外科を始める若い先生方が社会情勢に則した口腔外科の知識・技能・態度を体得していただくためのマニュアルとして『新・口腔外科はじめましょう』を企画・刊行しました。『新・口腔外科はじめましょう』は現場で活躍している先生方に外来・病棟で必須の手技などを具体的な内容でご執筆をいただき刊行しました。

そして2026年、僅か5年余の経過ですが新型コロナウイルス感染拡大も影響して医療環境は変化し、医療現場はDXが進みました。また、医療行為に関する法的解釈やインフォームド・コンセントをはじめとした患者と医療者の関係はこれまで以上に配慮が求められる時代になりました。今回の改訂にあたっては上記を鑑みて、必要となった新たな項目を加え、既存の項目も2026年の時点での最新の内容を提供できるように本文と図・写真を改訂しました。口腔外科で専門的な研修を始める先生方は、是非とも必要な時に本書で内容を確認しながら基本的知識と手技を修得して安全な医療が提供できる口腔外科の認定医、専門医を目指してください。

末筆ながら大きな改訂を企画し、編集を進めていただきましたデンタルダイヤモンド社の小野寺 学氏に感謝申し上げます。

2026年3月吉日
編集 片倉 朗